

今この時にしか感じることの

できない感動がある。

珠玉のエッセンス!!

巻頭文 谷川俊太郎

編・エッセイ

青木健 / 和合亮一 / 蜂飼耳

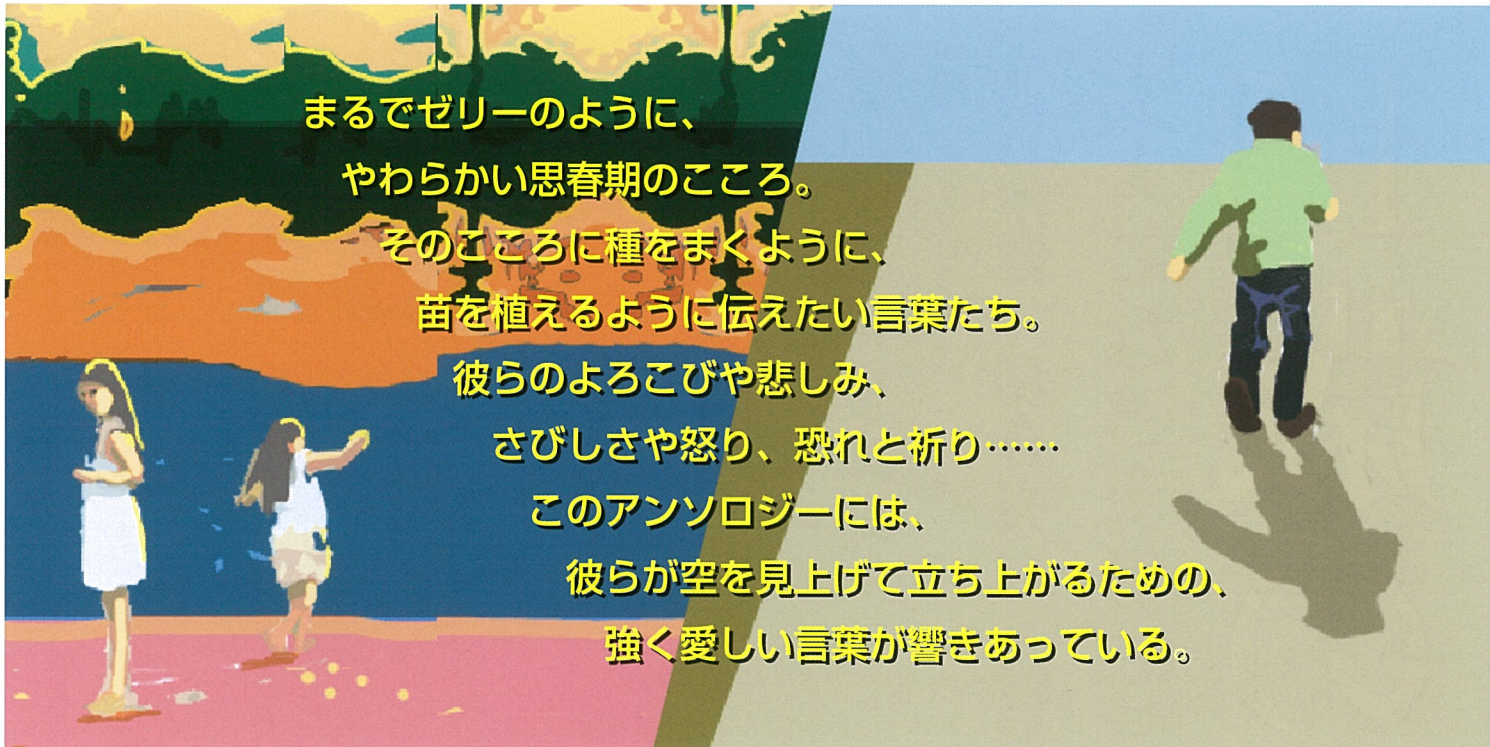
大人になるまでに読みたい

15歳の詩

全3巻



ゆまに書房



まるでゼリーのように、
やわらかい思春期のころ。
そのところに種をまくように、
苗を植えるように伝えたい言葉たち。

彼らのよろこびや悲しみ、
さびしさや怒り、恐れと祈り……

このアンソロジーには、
彼らが空を見上げて立ち上がるための、
強く愛しい言葉が響きあっている。

言葉は生きる力

草花や樹木が、太陽と水を必要とするように、わたしたちは言葉と愛を必要としている。なぜなら言葉は光であり、愛は生命の泉だから……。言葉はこころの闇を照らしてくれ、愛こそが、わたしたちに生きる力を与えてくれるのだ。

青木健

一篇の詩を抱いて欲しい

心に風を吹かせる方法を知って欲しい。若い青葉の影そのものである新鮮なきみたちに。この世界で生きて行くには、いろんなことがあり過ぎる。自分自身が何者であるのかを、きみは時に、果てしない草原の道の途中で忘れてしまうだろう。一篇の詩を抱くのだ、吹かせるのだ、揺らすのだ。その先で輝かせるのだ。何を。風を、葉を、空を。

和合亮一

たった一度きりの瞬間

人間はなぜ、ことばを使うようになったのだろう。情報を伝えるため？ それだけではないはず、と思う人は、いつかきつと詩と出会う。遠いことがらを想像したり、見なれたものの中にこそ、思いがけない新しさを見つけること。すべての瞬間が、じつはたった一度きりのものだ。と知ること。詩とはそういう発見です。

蜂飼耳

◎中高生に必読の名詩を収録／◎各巻ごとに現代詩の最前線で活躍する詩人が編集
／◎脚注で、各詩の作者のプロフィール、難解な語句を説明／◎各巻末に各編者の
エッセイを収録／◎各巻 100 篇ほどの詩を収録

青春時代にしか味わうことのできない名詩がある!!

組見本 (本文100%)

◎中高中生に必読の名詩を各巻一〇〇篇ほど収録します。

女よ
中原中也

女よ、美しいものよ、私の許にやつておいでよ。
笑ひでもせよ、嘆きでも、愛らしいものよ。
妙に大人ぶるかと思ふと、すぐまた子供になつてしまふ
女よ、そのくだらない可愛い夢のままに、
私の許にやつておいで。嘆きでも、笑ひでもせよ。
どんなに私がおまへを愛すか、
それはおまへにわかりはしない。けれどもだ、
さあ、やつておいでよ、奇麗な無知よ、
おまへにわからぬ私の悲愁は、
おまへを愛すに、かへつてすばらしいこまやかさとはなるのです。

*中原中也(なかはら・ちゅうや)
一九〇七(明治40)年4月29日、山口県山口市湯田温泉に生まれる。一九二三(大正12)年、京都に移る。ダダイズムに傾倒。一九二五(大正14)年、上京。小林秀雄らと交わる。のちに『ランボオ詩集』を翻訳するなど、フランス詩に影響を受ける。一九三四(昭和9)年、詩集『山羊の歌』刊行。一九三六(昭和11)年、長男・文也死去(満2歳)。病により、一九三七(昭和12)年10月22日死去。享年30歳。一九三八(昭和13)年、詩集『在りし日の歌』が、小林秀雄らによって出版される。

5

◎現代詩の最前線で活躍する詩人による必読のセレクションです。

◎巻末には、各巻のテーマによせた各編者のエッセイを収録します。

◎脚注で、各詩の作者のプロフィール、難解な語句を説明しています。

◇近代～現代までの名詩を収録◇

◆収録する詩人(一部)

荒川洋治／鮎川信夫／井坂洋子／石垣りん／石川啄木／石田波郷／井伏鱒二／伊東静雄／伊藤整／入沢康夫／大岡信／大手拓次／小野茂樹／尾崎喜八／金子兜太／金子光晴／金子みすゞ／清岡卓行／島崎藤村／高見順／竹久夢二／立原道造／谷川俊太郎／田村隆一／寺山修司／友部正人／永瀬清子／中野重治／中原中也／中村草田男／夏目漱石／萩原朔太郎／堀口大学／三好達治／村山槐多／室生犀星／山之口獏／与謝野晶子／吉野秀雄／吉増剛造／若山牧水 ほか

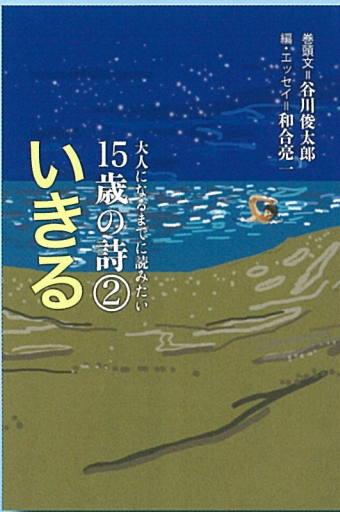


【第1回配本】①愛する

編・エッセイ=青木 健 (あおき・けん)

1944年、京城生まれ。詩人・小説家・評論家。『星からの風』(鳥影社、表題作は新潮新人賞受賞作)。『中原中也—盲目の秋』『中原中也—永訣の秋』(河出書房新社)。『田村隆一エッセンス』(編・河出書房新社)。『江戸尾張文人交流録』(ゆまに書房)。詩集『振動尺』(書誌山田)など。

ISBN978-4-8433-4265-7 C1392



【第2回配本】②いきる

編・エッセイ=和合亮一

(わごう・りょういち)

1968年生まれ。福島県生まれ、在住。詩人。高校教師。『After』(思潮社、第4回中原中也賞受賞)。『地球頭脳詩篇』(思潮社、第47回晩翠賞)。東日本大震災以降、ツイッターで福島の現況を詩で発表。『詩の礫』『詩ノ黙礼』『詩の邂逅』の三部作を刊行。

ISBN978-4-8433-4266-4 C1392



【第3回配本】③なやむ

編・エッセイ=蜂飼 耳 (はちかい・みみ)

1974年、神奈川県生まれ。詩集に『いまにもうるおっていく陣地』(紫陽社、第5回中原中也賞受賞)、『食うものは食われる夜』(思潮社、第56回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞)、『現代詩文庫・蜂飼耳詩集』(思潮社)など。文集に『孔雀の羽の目がみてる』(白水社)、『秘密のおこない』『空席日誌』(毎日新聞社)などがある。

ISBN978-4-8433-4267-1 C1392

◆第一回配本——二〇一三年一〇月二五日 *以後、毎月一冊刊行

大人になるまでに読みたい 15歳の詩 全3巻

巻頭文〓谷川俊太郎
造本・装訂〓四六判・並製・カバー装
各巻平均二二〇ページ
カバーイラスト〓小椋芳子
定価 本体一、五〇〇円＋税



〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL .03 (5296) 0491
FAX.03 (5296) 0493
<http://www.yumani.co.jp/>
e-mail eigyou@yumani.co.jp

全3巻 (揃定価: 本体 4,500 + 税)

ISBN978-4-8433-4264-0 C1392

ゆまに書房 Tel.03 (5296) 0491 / Fax.03 (5296) 0493 年 月 日

大人になるまでに読みたい

15歳の詩

全3巻
(揃定価: 本体 4,500 + 税)
ISBN978-4-8433-4264-0 C1392

取
扱
店

ご
注
文
書

お名前
ご住所

TEL ()

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。